

3月 みんなのひろば

令和7年3月発行
庄内町子育て支援センターこっころ
☎42-2268
* 事業中に記録用の写真を撮らせていただきます。



春に向かう季節になりましたが、この時季は入園や入学・転入などライフステージの変化とも重なり、何となく落ち着かない気分の時もあるのではないのでしょうか。
「自分をご機嫌でいられる」コトやモノを持っている人は、ポジティブになれる。探してみませんか、小さな幸せ！

子育てのお悩み こんな時、どうしていますか？

◆甘えてばかりいる

乳幼児期の子育てのキーワードのひとつに「アタッチメント」があります。アタッチメントには、しがみつく・すがりつく・くっつくという意味があり、情緒的な絆(愛着関係)を指します。誰かにしがみつки、「大丈夫だよ」と言ってもらったり抱きしめられて安心感を与えてもらったりすることで心が育っていきます。振り子の振り幅のように、行きつ戻りつしながら、甘えていい時に十分甘えられた子は自立に向かいます。

現実的には、忙しかったり体調が悪かったりして十分に受け止められないこともあるでしょうが、「振り子の時期なんだ」と思ってみてください。

◆オモチャを貸せない・友達のオモチャを欲しが

自分が遊んでいるオモチャをすぐに貸してあげられる子は良い子でしょうか。自分の思いを「ヤダ」「ダメ」と表現することは悪いことでしょうか。逆に友達のオモチャを欲しが



る時はどうなのでしょう。大事なことは、同じものを探す力・使えるまで待てる力・代用品を工夫する力です。これらは、生きていくうえで大切な非認知能力です。

自分の思いが通らないという経験はとても大事です。自分の気持ちに折り合いをつけるために泣く時間が必要かもしれません。親は忍耐力を必要としますが、その時間を確保してあげてください。

そして気持ちを切り替えることができれば、別の楽しみを一緒に探してみてください。



4月18日(金)

10:30~11:00

「桜の花を咲かせよう」(造形あそび)

絵本の読み聞かせ



<対象>

1歳以上のお子さんと保護者10組

きょうだいの参加 OK です

※ひろばの前後は自由に遊べます



申し込み
QR コード

この本だいすき！

「モーっていったの

だあれ？」

作：ハリエット・ツィーフエルト
絵：シムズ・ターバック
訳：はるみ こうへい

はっきりした色使いのしかけ絵本。独特な絵のタッチが興味をひきます。いろいろな動物の鳴き声を、親子で真似してみるのも楽しい！「こっころ」の遊びのコーナーにも、絵本に出てくる動物が隠れているよ。探してみてね！！